



市内で活躍している小中学生の皆さんを紹介します

がんばる志木っ子! ①



【志木中学校】 市民力賞

人知れず長年にわたり善行を行い、市民に明るい夢や希望を与えた市民を、市民の皆さんの推薦により表彰する「市民力賞」。

3月28日(月)、志木中学校の生徒15人が表彰されました。受賞した皆さんは、下校時に自宅近くのシニア宅に立ち寄り、あいさつや自己紹介をするなどして、ふれあい交流を深めました。「ふれあい110番の家」に守られるばかりだけでなく、地域での人間関係をより豊かにし、互いに見守りあう環境を築いたことが、この度の受賞につながりました。

▲(左から) 藤本 佳希さん、大野 明日香さん、平澤 志帆理さん、
田中 乃々羽さん、神谷 龍之介さん、香川市長、小林 湊人さん、
板東 瑛美さん、丸山 千佳さん、高橋 和希さん

手話って楽しい ⑦

今月の手話 「男性」「女性」

男性は握りこぶしの親指を立てて表現し、女性は同様に小指を立てて表現します。

問合せ／福祉課 内線2430

このコーナーでは、手話に興味をもってもらうため、隔月で、手話表現を紹介していきます。耳の聞こえない人に、あいさつだけでも手話で伝えることができれば…。さあ、いっしょに手話を学んでみましょう！



志木を知り 志木を愛する 市民のかるた



「しき郷土かるた」

しき郷土かるたの舞台のいま・むかし

第25回

ぶしゅういつき 武州一揆

第二次長州征伐が原因となった米価の急激な上昇は、都市の貧しい人たちや山村住民を直撃しました。これにがまんできなくなった名栗村の住民は、ついに慶応2年(1866)6月13日に、米の安売りを要求して飯能へ押し出しました。

同じように苦しんでいた各地の農民もこの動きに刺激されて決起し、高利貸しや穀屋・酒造業者を襲撃しました。志木地区にも6月15日の朝にやって来た一揆勢によって、6軒の家が被害を受けました。

市場坂上交差点にある旧西川家潜り門(本町1丁目)には、扉や柱に武州一揆の刀傷があり、当時の爪痕を今もみることができます。



※「しき郷土かるた」は、志木駅東口駅前広場の舗装の一部に、絵タイルとして敷設されています。



▲市場坂上交差点にある旧西川家潜り門